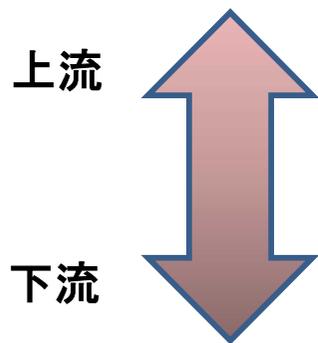


国家戦略、関係省庁の連携、産官学の連携の動き



- 2014年6月1日：「ナノセルロースフォーラム」設立。ナノセルロースの研究開発、事業化、標準化を加速するための、オールジャパン体制での産学官のコンソーシアム。
- 2014年6月24日：「日本再興戦略」改訂2014-未来への挑戦- セルロースナノファイバー（超微細植物結晶繊維）の研究開発等によるマテリアル利用の促進に向けた取組を推進する。
- 2014年8月1日：ナノセルロースに関する政策連携のため、農林水産省（農林水産技術会議・林野庁）、文部科学省（研究開発局）、経済産業省（製造産業局）、**環境省**（地球環境局）により「ナノセルロース推進関係省庁連絡会議」を創設し、第1回会合、その後、定期的を開催している。
- 2016年5月13日：「地球温暖化対策計画」（中略）自動車部材等の軽量化が期待できるセルロースナノファイバー等の社会実装に向けた技術開発を進める。
- 2018年4月17日：「第五次環境基本計画」（中略）セルロースナノファイバーやバイオマスプラスチック等の次世代素材について、社会実装に向けて、用途開発の実施や搭載時の性能評価、複合・形成プロセスの低炭素化の実証、リサイクル時の課題解決策検討のための実証を進める。また、セルロースナノファイバーやリグニン等について、国際標準化や製品化等に向けた研究開発を進める。
- 2019年6月11日：「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」非可食性バイオマス原料から各種プラスチック、セルロースナノファイバー製品等までを一気通貫で製造するプロセス技術を開発し、製造及び使用段階の省エネルギーを実現する。
- 2020年4月1日：ナノセルロースフォーラムを発展的に解消し、後継の「ナノセルロースジャパン」設立。



関係省庁	主な役割分担
農林水産省	農林業や食品産業からの国産セルロース原料の供給
文部科学省	セルロースナノファイバーに関する基礎研究
経済産業省	セルロースナノファイバーの製造（技術の研究開発等）
環境省	地球温暖化対策に資する分野への具体的な展開

※国土交通省はオブザーバーとして参加